

西九州新幹線武雄温泉駅高架下観光交流センター（仮称）及び駅前広場（仮称）

利活用促進に関するサウンディング型市場調査

結果概要

◆参加法人

3法人

◆サウンディング対話内容

●観光交流センター

①施設等の利活用について

- ・地域の情報発信を行う拠点としての整備
- ・外貨通貨両替 ATM の設置
- ・心地よい待合の場所の設置
- ・コンビニ又は充実した売店の設置
- ・観光客と市民との交流の場所の提供
- ・レンタサイクルのみならず、ギア付き電動キックボードなど、更なる充実
- ・手ぶら観光推進のためコインロッカーや手荷物預かり機能の充実
- ・近隣市町等の広域的な特産品の充実
- ・日常的に人が来るような仕掛けが必要

②施設等の運営・維持管理等について

- ・民間への賃貸では採算ベースで経営は難しい
- ・民間による委託運営
- ・指定管理者制度の活用

③空間設計・演出等の二期工事設計及び工事について

- ・武雄の新しい顔としてのテイストを持たせる
- ・高架下という特殊な空間を活かした斬新的なデザイン、空間演出
- ・まちの顔である駅に知的なイメージを持たせる
- ・足湯は運営コストがかかるため難しい
- ・新幹線側はスタイリッシュ、在来線側は和風温泉の雰囲気を残す

●駅前広場

①広場等の利活用について

- ・平日の賑わいをどのようにして作っていくかが課題
- ・高校生用の木陰や机の設置による空間演出
- ・川端どおりと連動しての週末イベントの実施
- ・賑わい創出のためのイベント実施
- ・「あかり展」の印象が強いため、夜の雰囲気づくりが重要

- ・市内の観光施設へつなぐきっかけづくりとなるよう、「宇宙科学館コーナー（プラネタリウム）、移動動物園、移動遊園地」などの誘致
- ・ゆっくりくつろげるスペースの確保
- ・植栽や芝生または人工芝による緑の演出
- ・話題性のあるものを作り、人が集まる場所になってほしい
- ・大きな樹木＝シンボリックなものがあつた方がよい
- ・クリスマスイルミネーションなど明かりを感じられるものがあつた方がいい
- ・屋根があるベンチ、風通しがよい子供たちが遊べる芝、水飲み場などの設置
- ・高齢者や子供連れのファミリー層が楽しめる学びの空間の設置
- ・図書館運営やICT教育等による武雄のイメージを活かした学びの空間（①教養・教育②食③健康・スポーツ④癒し）の創出
- ・照明、手洗い場は必要
- ・学ぼうとする大人や子どもをターゲットとした空間演出
- ・足湯は衛生面で心配
- ・武雄の焼き物とか文化的なものの展示するスペース
- ・海外からの観光客にも日本の文化を知りたい方が多いのでそのような場所を創出する
- ・広場周辺民間事業者との連携が必要

②広場等の運営・維持管理等について

- ・植栽の剪定は小まめに行う必要あり、管理ができないとマイナスイメージになる
- ・人が集まる場所にならないと民間による運営は難しい
- ・時代の流れに伴って変化しながらいいものにかえていく必要がある
- ・民間と行政の連携による運営は必須
- ・鳥（鳩、カラスなど）の対策が必要
- ・旅行者はカートを引っ張っているの、芝は移動しにくいので芝生の設置場所を要検討

③広場における飲食店運営（グルメをコンセプトにした運営）の可能性について

- ・飲食店の常設は経営的に難しい
- ・キッチンカーの誘致
- ・有名店を呼んだところで経営は長続きしないと思われる
- ・イベント時にスポットでやるのが良い。キッチンカー、夏のビアガーデン等必要に応じた場所貸し
- ・市民は駐車場がない飲食店には来ないのではないかな

●共通事項

①観光交流センター及び広場の共通活性化策について

- ・イベント等の実施のための備品倉庫の設置が必要
- ・駐車場は駅周辺の民間駐車場を活用
- ・駅周辺に民間の小さなお店が少しずつでも出店すれば活気が出る
- ・公衆無線 Wi-Fi は絶対必要
- ・川端通りや楼門への誘導路として市役所北側通路は安全性及び防犯上の確保が必須